発掘プログラム概要

希望する競技にあった実施日に応募してください。募集は実施日ごとに行います。

パラリンピック競技にどのようなものがあるかを知り、体験するプログラム

平成30年9月30日(日) 肢体不自由者向け／視覚障害者向け／知的障害者向け

- 時間: 10:00～17:00(予定)　●会場: 江戸川区スポーツセンター(プール)／東京都江戸川区西葛西4-2-20
- 参加競技(予定): カヌー、ボート、水泳、卓球、トライアスロン　等

平成30年11月4日(日) 肢体不自由者向け／視覚障害者向け

- 時間: 10:00～17:00(予定)　●会場: 三鷹市総合スポーツセンター(アリーナ)／東京都三鷹市新川6-37-1
- 参加競技(予定): 陸上競技、バドミントン、自転車競技、柔道、パワーリフティング、ボート、射撃、卓球、テコンドー、車いすバスケットボール、車いすフェンシング、ウィルチェアーラグビー、車いすテニス　等

平成30年12月1日(土) 肢体不自由者向け／視覚障害者向け／知的障害者向け

- 時間: 10:00～17:00(予定)　●会場: 東京スタジアム(味の素スタジアム)西競技場／東京都調布市西町290
- 参加競技(予定): 陸上競技、自転車競技、トライアスロン　等

一定以上の競技経験者が競技をより深めるプログラム

平成31年2月3日(日) 肢体不自由者向け／視覚障害者向け

- 時間: 9:30～17:00(予定)　●会場: 日本財団パラアリーナ／東京都品川区東八潮3-1
- 参加競技(予定): 陸上競技、バドミントン、自転車競技、馬術、柔道、ボート、射撃、水泳、卓球、テコンドー、トライアスロン、車いすバスケットボール、車いすフェンシング、ウィルチェアーラグビー、車いすテニス　等

詳しくは、「東京都 パラリンピック選手発掘プログラム」ホームページをご覧ください。
なお、2月3日のプログラムの申込締切日、申込用紙等は、10月(予定)以降、ホームページ等でお知らせします。

応募方法

参加をご希望の方は、申込用紙に必要事項を記入の上、郵送にてお申し込みください。

※個人情報のお取扱いについては、申込用紙及びホームページをご覧ください。

【対象者】
右の条件をすべて満たす方

①パラリンピック等の国際大会を目指す意思がある
②東京都在住、在学、在勤いずれか
③平成30年度末で小学5年生以上であり、年齢が59歳以下
④本事業で実施する競技や種目に該当する障害がある
⑤日本国籍を有する

お問合せ

「東京都 パラリンピック選手発掘プログラム」事務局
(株)セレスポ
TEL:03-6903-5405(平日10:00～17:00)
E-mail:tokyoparainfo@cerespo.co.jp

東京都障害者スポーツ選手発掘事業

東京都 パラリンピック 選手発掘プログラム

参加者大募集!

TOKYO 2020 PARALYMPIC GAMES 東京都

詳しくは、「東京都 パラリンピック選手発掘プログラム」ホームページ　東京都 パラ発掘 検索　http://www.para-athlete.tokyo

東京都　公益社団法人 東京都障害者スポーツ協会

1人でも多くの東京ゆかりの選手がパラリンピック競技大会に出場できるよう、競技志向の障害者アスリートを発掘するためのプログラムを実施します。

「東京都 パラリンピック選手発掘プログラム」は、例えば

- 普段から運動やスポーツをしていて体力に自信はあるが、パラリンピックの正式競技はしたことがない
- 普段は健常者の試合や大会に出場しているが、参加要件を満たしているならパラリンピック競技に挑戦してみたい
- パラリンピック競技をしているが、もっと自分に適した競技があれば、新たな競技に挑戦してみたい
- 冬季パラリンピックの競技をしているが、夏季競技にも挑戦してみたい

など皆さまとパラリンピック競技の出会いをサポートするプログラムです。

【対象障害】の詳細については、ホームページをご確認ください。

アーチェリー

的を狙って矢を放ち、当たった場所によって得られる得点で勝敗を競う。「上肢にも障害のある車椅子を使う選手」、「その他の車椅子の選手や立って弓を射る選手」の2つのクラス。

【対象障害】肢体不自由

陸上競技

100m走や800m走などのような『トラック』種目、走幅跳や砲丸投などのような『フィールド』種目、マラソンのような『ロード(道路を使用)』種目があります。

【対象障害】肢体不自由／視覚障害／知的障害

バドミントン

バドミントンは、2020年の東京パラリンピック大会で初めて正式競技となります。競技は障害の種類や程度によって分けられたクラスごとに行われます。

【対象障害】肢体不自由

第1回日本障がい者バドミントン選手権大会

ボッチャ

白い「ジャックボール(目標球)」に向かって、赤と青、それぞれ6個のボールを投げる、転がすなどして、どれだけジャックボールに近づけられるかを競う競技。

【対象障害】肢体不自由

カヌー

200mのスプリントで競う。障害の程度によって3つのクラスに分かれ、種目はパドルを左右交互にこぐカヤックと、カヌーの片側に張り出した浮きの反対側のみをこぐヴァーがあります。

【対象障害】肢体不自由

自転車競技

「ロード」(タイムトライアル、ロードレース、チームリレー)と、「トラック」(個人追い抜き、タイムトライアル、タンデムスプリント、チームスプリント、スクラッチレース)があります。

【対象障害】肢体不自由／視覚障害

馬術

規定演技を行う『チャンピオンシップ』と、『フリースタイル』の2種目。障害に応じて5つに分類されたグレードごとに競う個人戦と、グレードを問わずにチームを組む団体戦があります。

【対象障害】肢体不自由／視覚障害

5人制サッカー

視覚障害の選手が行うサッカー。アイマスクをつけた4人の選手と、視覚障害がないか障害の軽いゴールキーパーの1チーム5人。転がると音が出るボールを使用して行います。

【対象障害】視覚障害(GKのみ晴眼者)

ゴールボール

1チーム3人の選手が目隠しを装着し、攻撃側は相手ゴールに向かって、鈴が入ったボールを転がすように投球。守備側はボールの音や相手の足音を聞き分け、ゴールを守ります。

【対象障害】視覚障害

柔道

視覚障害者の柔道では、2人の選手が最初から互いに相手のえりとそでを持ち、組み合った状態で試合を始めます。それ以外のルールは、一般の柔道とほぼ同じです。

【対象障害】視覚障害

パワーリフティング

下肢(下半身)に障害のある選手が、上半身の力を使って、バーベルを持ち上げ、その重量の記録を競うスポーツ。障害の種類や程度によるクラス分けはなく、試合は体重別に行われます。

【対象障害】肢体不自由

ボート

4人の漕ぎ手(男女混成2:2)と1人のコックス(指示、舵を握る人)で1チームの「フォア」、男女混成の2人乗り「ダブル・スカル」、男女別の1人乗り「シングル・スカル」の3種目4競技があります。

【対象障害】肢体不自由／視覚障害

射撃

「ライフル」や「ピストル」を用いて的を撃ち抜き、得点を競い合う。「SH1(自力で上半身を支え射撃)」か、「SH2(スタンドを用い上半身を支えた状態で射撃)」のクラスに分類されます。

【対象障害】肢体不自由

シッティングバレーボール

床におしりをつき、座った姿勢でプレーする6人制バレーボール。サーブ、スパイク、ブロックは、おしりを床から離さず行い、レシーブは一瞬、床から離すことが認められています。

【対象障害】肢体不自由

2016インターコンチネンタル　リオデジャネイロパラリンピック最終予選

水泳

競泳のみで、「自由形」「平泳ぎ」「背泳ぎ」「バタフライ」「個人メドレー」「メドレーリレー」「フリーリレー」の7種目。障害の種類や程度によってクラス分けされ、競技を行います。

【対象障害】肢体不自由／視覚障害／知的障害

卓球

一般の競技規則に準じて行われますが、障害の種類や程度に応じて一部を変更。個人戦と団体戦があり、選手は障害の種類や程度、運動機能によってクラス分けされ、競技を行います。

【対象障害】肢体不自由／知的障害

テコンドー

ヘッドギア、ボディープロテクターなどを装着して、かかと落としや後ろまわり蹴りなどの足技で戦います。勝敗は得点と減点の集計による場合と、KO負けとなる場合があります。

【対象障害】肢体不自由

トライアスロン

オリンピックのトライアスロン競技の半分の距離(スイム0.75キロ、バイク20キロ、ラン5キロの総距離25.75キロ)を競います。障害に応じて特別な道具の使用や用具の改造が認められています。

【対象障害】肢体不自由／視覚障害

車いすバスケットボール

ルールは一般のバスケットボールとほぼ同じ。ボールを持ったまま車いすの車輪を3回以上回すと「トラベリング」になるなど、一部のルールは車いすの特徴に合わせて決められています。

【対象障害】肢体不自由

車いすフェンシング

ルールは、基本的に一般のフェンシングと同じですが、「ピスト」という装置に車いすを固定し、上半身だけで戦います。「フルーレ」「エペ」「サーブル」の3種目があります。

【対象障害】肢体不自由

ウィルチェアーラグビー

四肢に障害のある人向けの車いすで競技するラグビー。1チーム4人で、車いすによるタックルが認められる激しいスポーツ。一般のラグビーと異なり、前方へのパスも可能です。

【対象障害】肢体不自由

車いすテニス

車いすテニスの用具やルールは、一般のテニスとほとんど変わりありません。左右にすばやく、幅広く動き回るために車いすをコントロールする技術(チェアワーク)が必要です。

【対象障害】肢体不自由

DUNLOP KOBE OPEN 2018

実施体制

【主催】東京都／公益社団法人 東京都障害者スポーツ協会

【協力団体(予定)】東京都身体障害者アーチェリー協会／特定非営利活動法人　関東パラ陸上競技協会／認定特定非営利活動法人　日本ブラインドマラソン協会／東京都知的障がい者陸上競技連盟／東京障がい者バドミントン連盟／日本障害者カヌー協会／東京都自転車競技連盟／東京障害者乗馬協会／特定非営利活動法人 日本視覚障害者柔道連盟／特定非営利活動法人 日本パラ・パワーリフティング連盟／特定非営利活動法人　日本パラローイング協会／特定非営利活動法人　日本障害者スポーツ射撃連盟／東京都障害者水泳連盟／東京身体障害者卓球連盟／東京都知的障害者卓球部会／一般社団法人　全日本テコンドー協会／公益社団法人 日本トライアスロン連合／東京都車いすバスケットボール連盟／東京都車いすフェンシング協会／一般社団法人 日本ウィルチェアーラグビー連盟／東京車いすテニス協会

【後援】公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会